

2023年3月22日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

“ニンジャフーズ”“スポーツ観戦熱狂度の収益化”など、革新的な発想ずらり！
「第10回ナレッジイノベーションアワード」受賞者決定

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)、株式会社 KMO(代表取締役:小田島 秀俊)は、「第10回ナレッジイノベーションアワード」の受賞者を決定しましたので、お知らせします。



メインビジュアル

「Knowledge Innovation Award」は、中学生・高校生による未来の仕事をテーマにしたアイデアと、ナレッジキャピタル参加者が生み出すユニークで新しい製品や活動を表彰し、広く社会に発信することを目的に毎年開催しています。イノベーションという言葉から連想されやすい「新技術」だけではなく、サービスやプロジェクト、アイデアなどを対象にしたアワードです。

第10回となる今回は、「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」「ナレッジキャピタル部門」の3部門で合計7,212作品の応募がありました。最終ノミネートされた21作品から、3月21日(火・祝)の公開プレゼンテーション・最終選考会を経て、各賞を決定しました。本年のグランプリ作品は、次のとおりです。その他の賞は次ページ以降をご参照ください。



公開プレゼンテーションの様子

■ナレッジキャピタル部門

『【オツマミを変革する】食の楽しみを拡げ続ける、次世代フードテック NinjaFoods』/株式会社 Sydecas

■中学生アイデア部門

『メタバース・VRを使った障がい者教室・施設の仕事』/坂垣 璃音/大阪府立咲くやこの花中学校 1年

■高校生アイデア部門

『Passion Marketer』/町羽 煌太/伊丹市立伊丹高等学校 2年

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:稗方・財満
電話 06-6372-6427/Mail press@kc-i.jp

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと株式会社 KMO が共同運営しています。

1. ナレッジキャピタル部門

2021年12月～2022年11月の期間に、ナレッジキャピタル参加者が展開(研究、開発、展示、実演、販売等)したイノベーティブなプロダクト、プロジェクト、イベント、社内での取り組みまでを対象とした部門です。



■グランプリ 1点

・『【オツمامを変革する】食の楽しみを拡げ続ける、次世代フードテック NinjaFoods』/
株式会社 Sydecas

通常の蒟蒻を固めきらずにペースト状に保つことに成功した次世代蒟蒻素材です。他の素材に混合することで、対象の繊維を補強し蒟蒻ゲルを形成することで、強力な結着成形を実現します。そのため、小麦グルテンや卵、水飴類を使用せず、素材の良さを活かし低糖質で食物繊維豊富な食品の成型が可能です。この独自素材「NinjaPaste」を活用し、様々な食品メーカーや農業法人・漁業組合と協業することで、これまでの常識に捉われない、イノベーティブで自由なフードを開発しています。



■準グランプリ 2点

- ・『未来対話「ハナスダケ」』/大阪大学 大学院基礎工学研究科 吉川雄一郎、Hamed Mahzoon、似田優太、石黒浩
- ・『梅田白雲台・東スポコラボ 大スポダイナマイトホルモン』/株式会社東京スポーツ新聞社

■近畿経済産業局長賞 1点

- ・『会社の保健室代行サービス「オフィスほけん室」』/株式会社 F・Link

■優秀賞 3点

- ・『充電のバリアフリー』/株式会社 エレクトロンヴェクシー
- ・『マルホン 大阪ショールーム』/株式会社マルホン
- ・『人工知能によって『おもしろい』を創り出すための挑戦』/山西良典(関西大学総合情報学部 准教授)、辻野雄大(立命館大学情報理工学部 初任助教)

2. 中学生アイデア部門

中学生を対象に、「未来の仕事」をテーマにしたアイデアを募る部門。応募用紙には、自身の関心事や好きなこと、未来の生活風景を予測する欄があり、そのふたつから未来にできる新しい仕事を導き出すことができます。今年度は3,750人、2015年からの総計で延べ29,439人が参加しました。近年ではキャリア教育として、学校単位での参加も増えています。



■グランプリ 1点

- ・『メタバース・VRを使った障がい者教室・施設の仕事』/坂垣 璃音/大阪府立咲くやこの花中学校 1年

■準グランプリ 2点

- ・『昆虫調理士』/大槻 結子/京都市立洛南中学校 2年
- ・『デジタル遺品後処理班』/形部 響香/親和中学校 3年

■優秀賞 4点

- ・『ロボットディーラー』/大園 幸太郎/角川ドワンゴ学園 N 中等部 通学コース 大宮キャンパス 3年
- ・『きのこ事前食毒判別者』/國谷 健惺/京都橘中学校 3年
- ・『ミッション宇宙ゴミ回収セヨ!!』/寺田 龍平/初芝富田林中学校 2年
- ・『気象庁ナマズ課-Catfish are our heroes』/中山 和保/会津若松ザベリオ学園中学校 3年

■佳作 10点

- ・『年代別 政治家』/足立 莉渚/須磨学園中学校 2年
- ・『フライングセイバー』/江部 花音/京都先端科学大学附属中学校 1年
- ・『地下栽培者』/大下 詩子/吹田市立豊津中学校 1年
- ・『ゴミトリマン』/小川 花蓮/親和中学校 2年
- ・『おもいでドローン』/後安 美志/初芝富田林中学校 1年
- ・『選挙アプリ-Election App-』/近藤 帆夏/かえつ有明中学校 1年
- ・『光合成カーテン製造者』/松崎 千和/京都橘中学校 2年
- ・『みんなの友達エレファント君!』/松本 結衣/大阪府立咲くやこの花中学校 1年
- ・『ライフサポートシステム』/三原 菜結/和歌山県立日高高等学校附属中学校 2年
- ・『体感型広告プログラマー』/山本 詩織/土佐塾中学校 2年

3. 高校生アイデア部門

高校生を対象に、「未来の“私の“仕事”仕事をテーマとしたアイデアを募る部門。中学生部門よりも具体性や社会性が問われます。今年度は3,367人、2016年からの総計で延べ21,534人が参加しました。応募をきっかけに、進路が明確になり、副賞の「ほしいものチケット」を活用して進学を希望する大学の研究者に会いに行くなど、自身のキャリアを見通すきっかけになる事例も生まれています。



■グランプリ 1点

- ・『Passion Marketer』/町羽 煌太/伊丹市立伊丹高等学校 2年

■準グランプリ 2点

- ・『ぼっちおじさんV 麵化計画~わが生涯に定年の文字なし!~』/岩本 楓/日本女子大学附属高等学校 2年
- ・『Metaverse×Political Opinion』/林 蔚欣/茨城県立並木中等教育学校 2年

■優秀賞 4点

- ・『青学教師』/植田 彩水/大阪府立東高等学校 1年
- ・『PHYSIO DATABASE』/谷村 琉凧/愛媛県立松山東高等学校 2年
- ・『メッセージイラストレーター』/中野 夏希/兵庫県立鳴尾高等学校 3年
- ・『100年先の世界へ繋ぐ地域社会の創り方 EdTechnist×地域の輪』/宮本 紗和/青森県立田名部高等学校 2年

■佳作 10点

- ・『デジタル音楽 teacher』/稲見 碧/和歌山信愛高等学校 2年
- ・『高齢化開き直りプロジェクト』/岩村 里美/兵庫県立姫路工業高等学校 2年
- ・『昆虫農家』/奥村 颯斗/常総学院高等学校 1年
- ・『宇宙×生物 宇宙生物デザイナー』/小嶋 陽菜/初芝富田林高等学校 1年
- ・『Poliction~議論を重ね、幅広い視野を~』/小西 一輝/京都府立京都すばる高等学校 2年
- ・『特産ツークフォーゲル』/酒井 雪初/名城大学附属高等学校 1年
- ・『アウトルックカメラ開発プロジェクト』/辻井 美帆/清教学園高等学校 2年
- ・『C.O.M.カンファレンス』/水野 結希/大阪府立咲くやこの花高等学校 1年
- ・『雑草栽培農家』/山崎 允力/高知県立高知追手前高等学校 2年
- ・『体内健康ロボット管理士』/山下 咲来/久留米市立久留米商業高等学校 2年

4. 選考委員

河口 洋一郎	東京大学名誉教授／アーティスト／一般財団法人デジタルコンテンツ協会 会長
伊藤 恵理	東京大学大学院 工学系研究科 教授
遠藤 諭	株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員
大川内 直子	文化人類学者／株式会社アイデアファンド 代表取締役
塩瀬 隆之	京都大学総合博物館准教授／学術研究支援室 参与
村上 憲郎	大阪公立大学大学院 教授／元 Google 日本法人名誉会長
安田 洋祐	経済学者／大阪大学経済学部教授

5. 選考委員長総評

河口 洋一郎 東京大学名誉教授／アーティスト／一般財団法人デジタルコンテンツ協会 会長

ナレッジイノベーションアワードは、知の集積・発表の場として 10 周年を迎えた。

今回の中学生部門は、身近な問題に着目し、解決しようとするアイデアが増えたのは良かった。今後は、中学生らしく、元気があり、スケール感が大きく新鮮味のあるアイデアにもチャレンジして欲しい。高校生部門は、例年になく多様性に富んだ作品が多く、選考委員一同嬉しく思った。ナレッジキャピタル部門は、食に関連したアイデアが増えた。さらに、最先端の未来技術を活用したイノベーションにも期待したい。

これから AI アートや ChatGPT 等のテクノロジーの普及により、来年から世界は様変わりする。ナレッジキャピタルでは、それらの技術を否定するのではなく、取り込むことでデジタルだけでなくリアルな未来都市の実現を見据えた斬新な提案を待ち望んでいる。



【ナレッジキャピタル施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下 1 階～3 階
	フューチャーライフショールーム	1 階～6 階
	SpringX	2 階
	ナレッジシアター	4 階
	ナレッジサロン	7 階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7 階～8 階
	カンファレンスルーム	8 階・10 階
	ナレッジオフィス	9 階～13 階
コンベンションセンター	地下 1 階～地下 2 階	
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 株式会社 KMO	代表理事 宮原 秀夫 代表取締役 小田島 秀俊
事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 NTT 都市開発プライベート投資法人 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 ジャパンエクセレント投資法人 ジャパンリアルエステイト投資法人 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店	中央日本土地建物株式会社 東京建物株式会社 日鉄興和不動産株式会社 日本プライムリアルティ投資法人 阪急電鉄株式会社 阪急阪神リート投資法人 三菱地所株式会社 三菱倉庫株式会社